

2次曲線の分類

一般の2次曲線は、 x, y に関する2次方程式 $ax^2+2hxy+by^2+2gx+2fy+c=0$ (a, b, c, f, g, h は定数) … ④ で表される。 x, y の2次方程式が、2次曲線以外の図形を表す場合を除いて考えれば、方程式 ④ は、

- ① $h=0, a=b(\neq 0)$ のとき 円 ② $h^2-ab=0$ のとき 放物線
 ③ $h^2-ab<0$ のとき 楕円 ④ $h^2-ab>0$ のとき 双曲線 を表す。

[解説] $h=0$ のとき、2次方程式 $ax^2+by^2+2gx+2fy+c=0$ が2次曲線を表す場合は、軸が座標軸に平行な場合であり、①~④が成立する。

$h\neq 0$ のとき、 (x, y) を原点のまわりに角 $\theta(0<\theta<\frac{\pi}{2})$ だけ回転した点を (u, v) とする。

$$\text{このとき、} \begin{pmatrix} u \\ v \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos\theta & -\sin\theta \\ \sin\theta & \cos\theta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \text{であるから、} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos\theta & \sin\theta \\ -\sin\theta & \cos\theta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} u \\ v \end{pmatrix}$$

$$\therefore x=ucos\theta+v\sin\theta, \quad y=-u\sin\theta+v\cos\theta$$

これを $ax^2+2hxy+by^2+2gx+2fy+c=0$ に代入すると、

$$\begin{aligned} & a(ucos\theta+v\sin\theta)^2+2h(ucos\theta+v\sin\theta)(-u\sin\theta+v\cos\theta)+b(-u\sin\theta+v\cos\theta)^2 \\ & +2g(ucos\theta+v\sin\theta)+2f(-u\sin\theta+v\cos\theta)+c=0 \\ & (acos^2\theta-2hcos\theta\sin\theta+bsin^2\theta)u^2+2((a-b)\sin\theta\cos\theta+h(\cos^2\theta-\sin^2\theta))uv \\ & +(asin^2\theta+2hsin\theta\cos\theta+bcos^2\theta)v^2+2(gcos\theta-fsin\theta)u+2(fcos\theta+gsin\theta)v+c=0 \\ & \left(\frac{a+b}{2}+\frac{a-b}{2}\cos 2\theta-h\sin 2\theta\right)u^2+2\left(\frac{a-b}{2}\sin 2\theta+h\cos 2\theta\right)uv \\ & +\left(\frac{a+b}{2}-\frac{a-b}{2}\cos 2\theta+h\sin 2\theta\right)v^2+2(g\cos\theta-f\sin\theta)u+2(f\cos\theta+g\sin\theta)v+c=0 \end{aligned}$$

$$\text{ここで、} A=\frac{a+b}{2}+\frac{a-b}{2}\cos 2\theta-h\sin 2\theta, \quad H=\frac{a-b}{2}\sin 2\theta+h\cos 2\theta,$$

$$B=\frac{a+b}{2}-\frac{a-b}{2}\cos 2\theta+h\sin 2\theta, \quad G=g\cos\theta-f\sin\theta, \quad F=f\cos\theta+g\sin\theta \quad \text{とおくと、}$$

$Au^2+2Huv+Bv^2+2Gu+2Fv+c=0$ である。

$$A+B=a+b, \quad (A-B)^2=\{(a-b)\cos 2\theta-2h\sin 2\theta\}^2 \text{ より、}$$

$$AB-H^2=\frac{1}{4}\{(A+B)^2-(A-B)^2\}-H^2$$

$$=\frac{1}{4}\{(a+b)^2-((a-b)\cos 2\theta-2h\sin 2\theta)^2\}-\left(\frac{a-b}{2}\sin 2\theta+h\cos 2\theta\right)^2=ab-h^2$$

$H=0$ となるように角 θ を定めると、

$$a\neq b \text{ のとき、} \tan 2\theta=\frac{2h}{b-a}, \quad a=b \text{ のとき、} \cos 2\theta=0 \text{ より } \theta=\frac{\pi}{4} \text{ である。}$$

このとき、 $Au^2+Bv^2+2Gu+2Fv+c=0$ と表され、 $AB=ab-h^2$ であるから、
 放物線となるとき $AB=0$ 、楕円となるとき $AB>0$ 、双曲線となるとき $AB<0$ である。

2次曲線以外を表す場合としては、例えば、

- ② $h^2-ab=0$ のとき、 $(x+y+1)^2=0$ (直線) や $(x+y+1)^2=1$ (平行な2直線) を表す
 ③ $h^2-ab<0$ のとき、 $x^2+y^2+1=0$ のように表す図形が存在しない
 ④ $h^2-ab>0$ のとき、 $(x+y+1)(x-y-2)=0$ (交わる2直線) を表す

などが考えられる。